

めざす子ども像

・学びを大切にする園児児童生徒 ・仲間を大切にす**る園児児童生徒 ・命を大切にする園児児童生徒**

取組目標

**自ら考え、行動する力の向上と人に思いやりを持ち、繋がりを大切に
するコミュニケーション能力の向上。挨拶ができる能力を身につける。****【今年度の取組紹介】**

・子どもに豊かな心と生きる力のもととなる確かな学力を育むために、地域の人材を活用し、読み聞かせ活動や富雄丸山古墳の学習を通して地域学習にも取り組みました。また就学前から英語になじむ取組を行いました。

・地域での安全見守りを通して、いろいろな問題点も見えてきています。

・各校園一斉「花いっぱい運動」で地域ボランティアの皆さんと花植えを2学期と3学期に実施。

・大学生参画事業参加大学生と校区の卒業生の大学生とが、身近なお兄さんお姉さんとして児童・生徒と「とみにゃんフェスタ」を企画から当日運営まで行いました。

・とみにゃんクラブ（中学生）、とみにゃん kids（小学生）のボランティア活動を活発に行い、企業にも協力いただき、「掃除」の学習のお手伝いを行い、自らも掃除の必要性を学びました。

とみにゃん kids は地元の苗屋さんに出向き、買い付けから値付け販売までを行うキャリア教育の取組をすることができました。自ら考え行動する力や、異年齢との繋がり、地域の方との交流が行えました。

**【今年度のまとめ】**

コロナが5類になったものの、4年間の空白のような部分があり、計画通りに進めることが難しかったですが、new フェスタ「とみにゃんフェスタ」も2回目となり、昨年の倍以上の参加者で会場は盛り上がりました。

目指す子ども像の「学びを大切に・仲間を大切に・命を大切に」は十分な成果を出せています。継続して行ってきたことが、児童生徒に定着し、また自ら考え、行動するという点においても今何をすべきかを考えて行動している場面を多くみることができました。

【来年度に向けて】

コーディネーター不足や、次世代の担い手の育成が大きな課題となっています。

校区の中学を卒業していった子どもたちが学生ボランティアとして戻ってきてくれる仕組み作りが大きな課題だととらえています。

さらに、コロナ禍で先生との距離感ができている部分の修復が必要になってきています。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒 仲間を大切にする園児児童生徒 命を大切にする園児児童生徒

取組目標

子どもたちが地域とのつながりを意識できる学習環境整備・取組を充実する。

【今年度の取組紹介】

○9月30日にPTAと地域が協力して、合同清掃を行いました。

昨年度に引き続いての実施となりましたが、晴天に恵まれ、気持ちの良い汗を流すことができました。地域・生徒・保護者の参加者全員が協力して、木々の伐採や剪定、草引きを熱心に行っていただいたため、美しい学校環境ができたと共に地域の絆がより一層深まったと思いました。これからも、整備の行き届いた美しい学校を目標に、落ち着いた環境を維持し、笑顔があふれるようなすばらしい環境を整えていきたいです。

○12月2日に本校を会場に富雄南中学校区地域教育協議会主催の「とみにゃんフェスタ 2023」が開催されました。これまでも開催していたイベントでしたが、新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、昨年度以上に多くの参加者が集まり、盛大に実施されました。この日も天候に恵まれ、幼い子どもたちからお年寄りまで、幅広い層の地域の皆様が参加し、とみにゃんコンサート、花苗販売、国際交流等の充実した内容で、イベントを行うことができ、参加された地域の皆様は満足された様子でした。



【今年度のまとめ】

富雄南中学校では、地域行事や地域教育協議会主催の行事への協働体制が定着していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事の中止や制限があり、交流や協働の場がなくなっていました。しかし、今年度は、その制限が緩和され、徐々に通常の活動ができたことで、これまでの協働体制を復活させることができ、とても喜んでいます。

【来年度に向けて】

これからは新しい仕組みをつくり、地域との交流や活性化させ、これからの時代の流れに応じた活動により、さらに絆を深めていけるように活動していければと考えています。また、富雄南中学校区のマスコットキャラクターを活用し、地域と学校が安全で暮らしやすい環境を作れるように、学校、保護者、地域が一体となって、協力して進めていけるように努めていきます。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒 仲間を大切にする園児児童生徒 命を大切にする園児児童生徒

取組目標

- ・読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。
- ・地域の方々とふれあいを通して、コミュニケーション能力を高める

【今年度の取組紹介】

今年度も「人とふれあい 地域とつながる」をコンセプトに計画しました。また、アフターコロナとよばれるこの時期に「実施できること」や、「実施できる方法」、そして「今後も持続可能な事業としての在り方」を模索しました。「チャレンジタイム事業」等の体験学習、「ファンタジータイム事業」の読書活動の推進、「環境整備事業」の教育環境を充実させる活動は、人の動きが制約なく活発になる中、一層充実した活動を行うことができました。「リアルに本物を体験できること」、「子どもたちの学びの教育条件を整える環境整備」は、今の本校児童にとって大変貴重なことだと思います。それを地域の方々と共に実施できたことは、大変意義あることでありました。

ファンタジータイム事業 チャレンジ事業 環境整備事業

ファンタジータイム事業として、本の読み聞かせや図書室の整備を行いました。また、チャレンジタイム事業（地域学習、福祉体験学習）、環境整備事業（花の植え付け）などを地域の方々と一緒に行い、多くの児童が参加して実施することができました。



地域の方と児童による花の植え付け 5年地域学習 赤膚焼体験

【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症の影響が減り社会や人々の考え方が変わる中、どのように活動を実施すればよいか、どのような活動が実施可能かを、地域コーディネーターとともに思案しました。「地域の方々とふれあい」を意識してプランニングを行い、内容・参加する人数などを調整して実施していきました。どの取組でも、子どもたちからは、「すごく楽しかった。」「地域の方に教えてもらって良く分かった。」「図書館がきれいになってうれしい。」等の声がきかれました。児童に自分が住む地域への関心を深め、地域の中で生きているという意識を持たせることができたと感じます。特に本校の卒業生である地域の方々が、活動の合間に語られる学校での思い出が子ども達には心に響いたようです。また、地域の方々が学習活動に参加していただくことで、本校教育への理解を深めていただくことにもつながったと感じました。

【来年度に向けて】

あたえられた環境の中で、持続可能な事業の在り方を模索しながら、活動内容を深化発展させていきたいと思います。そして、地域・保護者・学校・行政が協働して教育目標の達成に向かって進めていきたいと思います。

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児・児童・生徒
- ・ 仲間を大切にする園児・児童・生徒
- ・ 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

体験 発見 創造ひろがる「三碓学習」
児童の豊かな感性を醸成する
～学習環境の整備・充実 地域の方々と連携し本物にふれる体験を～

【今年度の取組紹介】

今年度は、昨年度に引き続き「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓（なら）の祭り」「むかしあそび」「伝統文化～書道」「人権と平和」など各学年で、テーマに基づき、できる形で行おうと考えました。

また、豊かな感性や情操を育む事業として、1年を通しての「図書ボランティア」によるより使いやすい図書室への改装と「校内緑化」及び「校内環境整備」事業を進めました。また、本年度は昨年度に引き続きプール学習監視する教員を配置しました。コロナ感染拡大による制限は明けましたが、数年できなかったプール指導をより充実させるために地域から大学生の人材を紹介いただき、指導支援をしてもらうことができました。引き続き行っている3年生の習字や 低学年の昔遊び 6年生の平和学習など、これらの学びをきっかけとして、三碓に愛着をもつ児童の育成に向けた活動となっています。

**【今年度のまとめ】**

「学び」「仲間」「いのち」を大切にする感性豊かな子どもを育成することは、本校保護者をはじめ地域の方々の強い願いです。地域を愛する方々とともに実体験をした児童は、「みつがらす」という郷土とともにそこに暮らす人々を愛し、誇りをもつことができました。

ボランティアの方々と進めてきた「校内緑化・環境整備事業」が根付き、今年度は地域の力をお借りすることがあまりできませんでした。子どもたちが自ら企画・作業を行い、新しく田畑や花壇・寄せ植えを作り、育てました。子どもたちが「主体的に考える」取組を行うことができました。

【来年度に向けて】

実体験ができる「環境」と「人」の提供を目指して取り組んでいますが、来年度も体験の効率化のため、ICTの活用も視野に入れて検討していこうと考えています。また、校内緑化・整備事業や地域と学ぶ三碓学習などは継続的に推進し、「学び」「仲間」「いのち」を大切にできる児童の育成に努めていきます。地域の方々と連携し進めていきたいと考えています。

めざす子ども像

- ・ **学びを大切にする園児児童生徒**
- ・ **仲間を大切にする園児児童生徒**
- ・ **命を大切にする園児児童生徒**

取組目標

ぐんぐん 伸びよう 笑顔 いっぱいタイム

【今年度の取組紹介】

地域の方とのふれあい事業 “キッズイングリッシュ”

地域の方にゲストティーチャーとして来ていただき、英語に触れて遊ぶ“キッズイングリッシュ”を年間通して行いました。回数を重ねることで、「ハロー」と子どもたちから挨拶したり、「今日の天気は?」「どんな気分?」と英語で聞かれると、元気に答えたりする姿もありました。また、手遊びや歌を一緒に真似たり、体を動かしながら英語のゲーム遊びをしたりなど、楽しみながら英語に触れる機会となり、意欲的に取り組む姿がたくさん見られました。



環境整備活動事業 “花いっぱい運動”

園の花壇やプランターに春や秋、冬と季節毎に花苗植えを行いました。秋は職場体験で来てくれた中学生のお兄さんお姉さんと一緒に行いました。「ここを持つんだよ」と優しく教えてもらい、「一緒にして」「見て! 植えられたよ」と会話を楽しみながら、中学生に親しみの気持ちをもつこともできました。また、たくさん花が咲いてくると、「お水あげようっと」「きれいだね」と生長の様子を楽しみに栽培する様子も見られ、豊かな心に繋がっていると感じています。



【今年度のまとめ】

友達と一緒に、いろいろな方と関わりながら様々な体験活動に取り組む中で、興味や関心をもち、活動する楽しさを味わい、主体的に取り組む姿が見られました。上記の他にも“サッカー教室”や“みんなであそぼう”、“おはなしの広場”等もさせていただきました。これまで積み重ねてきた取組を継続して行うことで、意欲や期待感がさらに高まり、子ども達の豊かな学びになりました。

また、地域や保護者の方と一緒に、草引きや花の苗植え、“わくわく畑”での栽培活動など、身近な環境を自分達で整えたり、栽培したりすることで、興味や関心が広がりました。自ら遊びに取り入れたり、地域の方により親しみの気持ちをもって活動したりする姿につながりました。花壇を見て、「これ、私が植えたんだよ」「きれいだね」と、親子の会話も弾んでいます。

【来年度に向けて】

地域や保護者の方の協力を得ながら、様々な人との関わりを大切にして事業を継続し、友達と一緒に多様な体験を積み重ねていきたいです。その中で、地域の方との繋がりを広げ、子ども達にとって必要な経験となるよう、取り組み方や内容を工夫していきたいと考えています。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒

仲間を大切にする園児児童生徒

命を大切にする園児児童生徒

取組目標

人や自然との豊かなふれあいができる環境を整え、地域とのつながりを感じられる取り組みを行っていく。

【今年度の取組紹介】



・地域の方に来ていただき、「おもしろ理科教室」を開催しました。空気を使った遊びや磁力を使った遊び・電力を使った遊びなどを紹介していただき、子どもたちは驚いた様子で「なんでだろう?」「すごい」と声をあげながら物が動いたり、変化したりする様子を見ていました。身の回りの出来事に驚き、感動したり、創造したりすることで豊かな感性が育まれ、学ぶ楽しさを味わうことができました。

また、スクテッドフットボールクラブにきていただき、マットやフープサッカーボールを使い、遊びの中で体を動かす基礎を教えていただきました。少し難しい動きも、はじめは「できるかな」と不安な姿もありましたが、「できた」という成功体験を通して「もっとやりたい」という意欲につながり、しなやかな体づくりの一步となりました。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルスの5類移行を受け、交流方法や開催回数を拡大し、こども達は様々な活動に意欲的に参加することができました。読み聞かせ事業では学期に1回来ていただき、絵本や紙芝居などに親しみを持ち、お話の世界に入り込むことで創造する力や表現する力につながりました。また栽培活動や、環境整備事業では地域の方に苗の植え方を教えていただいたり、一緒に花を植えたりすることで生長に期待を持って自然に関わる姿につながっただけでなく、収穫を通して食への関心や味わうことの喜び、命の大切さにも気付くきっかけとなりました。運動遊び事業や地域交流事業では「おもしろい」「どうしたらいいかな」「やってみよう」という心が育ち、できたという成功体験を実感したことで子ども達の意欲につながりました。

【来年度に向けて】

子どもたちが地域の方と様々な活動を通してより一層交流する機会をもち、地域のことを知り、地域の方に見守っていただきながら学び育っていけるようにしていきたいです。そのために園の取組や園の保育・教育活動の中での子どもの育ちを地域の方に幅広く知っていただけるよう、広報の在り方を見直したり、地域の行事等に何らかの形で積極的に参加したりしていきたいです。